

情報公開文書

| | |
|------|---|
| 名称 | 高カリウム血症に対するカルチコールの投与 |
| 診療科等 | 全診療科 |
| 分類 | 適応外使用 |
| 対象者 | 当院で治療を受ける患者で、著しい高カリウム血症を呈した患者 |
| 承認日 | 2023年8月28日 |
| 対象期間 | 承認後から永続的に使用 |
| 概要 | <p>【目的・意義】</p> <p>著しい高カリウム血症では、過剰なカリウムにより不整脈を引き起こすことがあります。高カリウム血症で起こる不整脈は命に関わることもあるので、不整脈を予防するためにカルシウム製剤の投与が推奨されています。その場合の治療として、グルコン酸カルシウムであるカルチコールの投与が行われます。しかし、高カリウム血症に対してカルチコールを投与することは保険診療では適応外の使用となります。高カリウム血症に対するカルチコールの投与は多くの教科書・ガイドライン等に掲載され、多くの医療現場で行われています。上記理由から、医師が投与を必要と判断した高カリウム血症患者に対して、その使用を認めています。</p> <p>【想定される不利益と対策】</p> <p>カルチコールの投与により高カルシウム血症をきたし、吐き気や不整脈等を起こす可能性はあります。頻回な電解質測定を実施することで副作用の予防と早期発見に努めます。また、高カリウム血症が改善され次第、カルチコールの投与は終了します。</p> |